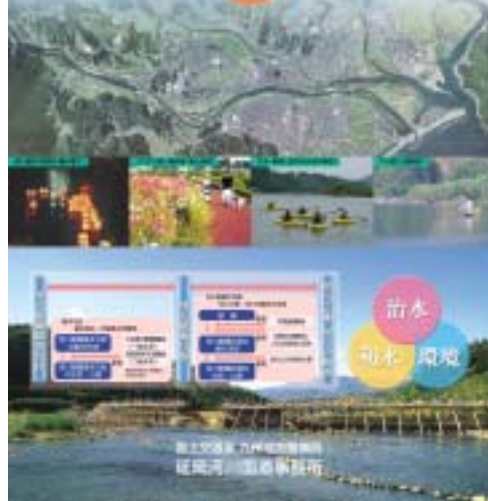


五ヶ瀬川の明日を考える

五ヶ瀬川水系河川整備計画（概要）

概要図



国土交通省九州地方整備局
延岡河川国庫事務所

五ヶ瀬川の概要

流域及び河川の概要

五ヶ瀬川流域には約12.8万人が暮らし、3県（2市6町）で構成されます。

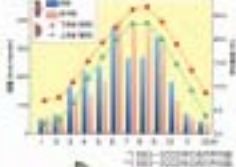
- 平均河川流量 106m³/s
- 流域面積 1,820km²
- 流域人口 約128,000人

【五ヶ瀬川水系位置図】



月別の平均降水量と河川流量の月別平均値

（延岡川上流（延岡市）の観測値）



五ヶ瀬川上流（延岡市）



五ヶ瀬川中流（大野町）



五ヶ瀬川下流（延岡市）



河口



五ヶ瀬川の概要

治水の沿革

五ヶ瀬川の上流治水		五ヶ瀬川における治水事業の概要	
519号 昭和18年～20年	河川	519号 昭和18年～20年	河川
520号 昭和18年～20年	河川	521号 昭和18年～20年	河川
521号 昭和18年～20年	河川	522号 昭和18年～20年	河川
522号 昭和18年～20年	河川	523号 昭和18年～20年	河川
523号 昭和18年～20年	河川	524号 昭和18年～20年	河川
524号 昭和18年～20年	河川	525号 昭和18年～20年	河川
525号 昭和18年～20年	河川	526号 昭和18年～20年	河川
526号 昭和18年～20年	河川	527号 昭和18年～20年	河川
527号 昭和18年～20年	河川	528号 昭和18年～20年	河川
528号 昭和18年～20年	河川	529号 昭和18年～20年	河川
529号 昭和18年～20年	河川	530号 昭和18年～20年	河川
530号 昭和18年～20年	河川	531号 昭和18年～20年	河川
531号 昭和18年～20年	河川	532号 昭和18年～20年	河川
532号 昭和18年～20年	河川	533号 昭和18年～20年	河川
533号 昭和18年～20年	河川	534号 昭和18年～20年	河川
534号 昭和18年～20年	河川	535号 昭和18年～20年	河川
535号 昭和18年～20年	河川	536号 昭和18年～20年	河川
536号 昭和18年～20年	河川	537号 昭和18年～20年	河川
537号 昭和18年～20年	河川	538号 昭和18年～20年	河川
538号 昭和18年～20年	河川	539号 昭和18年～20年	河川
539号 昭和18年～20年	河川	540号 昭和18年～20年	河川
540号 昭和18年～20年	河川	541号 昭和18年～20年	河川
541号 昭和18年～20年	河川	542号 昭和18年～20年	河川
542号 昭和18年～20年	河川	543号 昭和18年～20年	河川
543号 昭和18年～20年	河川	544号 昭和18年～20年	河川
544号 昭和18年～20年	河川	545号 昭和18年～20年	河川
545号 昭和18年～20年	河川	546号 昭和18年～20年	河川
546号 昭和18年～20年	河川	547号 昭和18年～20年	河川
547号 昭和18年～20年	河川	548号 昭和18年～20年	河川
548号 昭和18年～20年	河川	549号 昭和18年～20年	河川
549号 昭和18年～20年	河川	550号 昭和18年～20年	河川
550号 昭和18年～20年	河川	551号 昭和18年～20年	河川
551号 昭和18年～20年	河川	552号 昭和18年～20年	河川
552号 昭和18年～20年	河川	553号 昭和18年～20年	河川
553号 昭和18年～20年	河川	554号 昭和18年～20年	河川
554号 昭和18年～20年	河川	555号 昭和18年～20年	河川
555号 昭和18年～20年	河川	556号 昭和18年～20年	河川
556号 昭和18年～20年	河川	557号 昭和18年～20年	河川
557号 昭和18年～20年	河川	558号 昭和18年～20年	河川
558号 昭和18年～20年	河川	559号 昭和18年～20年	河川
559号 昭和18年～20年	河川	560号 昭和18年～20年	河川
560号 昭和18年～20年	河川	561号 昭和18年～20年	河川
561号 昭和18年～20年	河川	562号 昭和18年～20年	河川
562号 昭和18年～20年	河川	563号 昭和18年～20年	河川
563号 昭和18年～20年	河川	564号 昭和18年～20年	河川
564号 昭和18年～20年	河川	565号 昭和18年～20年	河川
565号 昭和18年～20年	河川	566号 昭和18年～20年	河川
566号 昭和18年～20年	河川	567号 昭和18年～20年	河川
567号 昭和18年～20年	河川	568号 昭和18年～20年	河川
568号 昭和18年～20年	河川	569号 昭和18年～20年	河川
569号 昭和18年～20年	河川	570号 昭和18年～20年	河川
570号 昭和18年～20年	河川	571号 昭和18年～20年	河川
571号 昭和18年～20年	河川	572号 昭和18年～20年	河川
572号 昭和18年～20年	河川	573号 昭和18年～20年	河川
573号 昭和18年～20年	河川	574号 昭和18年～20年	河川
574号 昭和18年～20年	河川	575号 昭和18年～20年	河川
575号 昭和18年～20年	河川	576号 昭和18年～20年	河川
576号 昭和18年～20年	河川	577号 昭和18年～20年	河川
577号 昭和18年～20年	河川	578号 昭和18年～20年	河川
578号 昭和18年～20年	河川	579号 昭和18年～20年	河川
579号 昭和18年～20年	河川	580号 昭和18年～20年	河川
580号 昭和18年～20年	河川	581号 昭和18年～20年	河川
581号 昭和18年～20年	河川	582号 昭和18年～20年	河川
582号 昭和18年～20年	河川	583号 昭和18年～20年	河川
583号 昭和18年～20年	河川	584号 昭和18年～20年	河川
584号 昭和18年～20年	河川	585号 昭和18年～20年	河川
585号 昭和18年～20年	河川	586号 昭和18年～20年	河川
586号 昭和18年～20年	河川	587号 昭和18年～20年	河川
587号 昭和18年～20年	河川	588号 昭和18年～20年	河川
588号 昭和18年～20年	河川	589号 昭和18年～20年	河川
589号 昭和18年～20年	河川	590号 昭和18年～20年	河川
590号 昭和18年～20年	河川	591号 昭和18年～20年	河川
591号 昭和18年～20年	河川	592号 昭和18年～20年	河川
592号 昭和18年～20年	河川	593号 昭和18年～20年	河川
593号 昭和18年～20年	河川	594号 昭和18年～20年	河川
594号 昭和18年～20年	河川	595号 昭和18年～20年	河川
595号 昭和18年～20年	河川	596号 昭和18年～20年	河川
596号 昭和18年～20年	河川	597号 昭和18年～20年	河川
597号 昭和18年～20年	河川	598号 昭和18年～20年	河川
598号 昭和18年～20年	河川	599号 昭和18年～20年	河川
599号 昭和18年～20年	河川	600号 昭和18年～20年	河川

利水の沿革

五ヶ瀬川流域全体の農業用水としては、現在約2,400haに及びる給水のみのみに利用されています。発電量は22発電所、最大約237m/sを有し、最大出力約138,000kwの電力を供給しています。大瀬川-利子川-北川の下流部で工業用水として取水しており、流域全体で7.7m/sの水流量があります。水用途としては給水用が大瀬川で0.25km/sのポンプ取水をしているのみで、流域内のほとんどの水用途は地下水に依存しています。

五ヶ瀬川の水利利用(計画外)

水利利用	件数
農業用水	2
工業用水	1
生活用水	22
発電	28



五ヶ瀬川の現状と課題

治水

外水対策 昭和29年より高瀬川として改修を進め、国土交通省管理区域内の堤防整備を必要とする区間4.0km以内、現在約70%完成しています。しかし、未整備区間は、流下断面不足により、市街地を食んだ土砂崩壊で水位が上昇し、甚大な被害が発生する恐れが懸念されています。また、五ヶ瀬川は大瀬川(分岐-両合流及び河口部付近)の支川合流といった複雑な河川形態であり、異常的な水位上昇等が発生しています。さらに五ヶ瀬川河口部等・砂嘴等による流下障害が見られます。



堤防の安全性

危険性の高い箇所については臨時対策を実施してきましたが、平成17年8月の洪水では、三郷地区をはじめ、4箇所で大規模な被害が発生しています。堤防の背後地には人口や資産の集積が著しい箇所もあり、堤防の安全性の確保がますます必要となっています。



三郷地区

内水対策

近年の課題として内水氾濫対策が急務になっています。五ヶ瀬川下流部の被害地は、堤内側の地盤高が洪水時の河川水位に比べて低い地形特性を有しているため、平成5年8月、平成9年8月、平成16年10月洪水等において、内水氾濫が発生しました。また、平成17年8月洪水においては、本川及び北川、利子川の合流部において最大な内水氾濫が数多く発生しています。

遊憩管理区堤防整備状況

遊憩管理区 (km)	整備延長 (km)	完成済	
		整備延長 (km)	整備率 (%)
28.5	48.0	37.4	76.3

風情、地質・津波対策

昭和44年に高瀬川は完成していますが、地盤改良対策として東海南海地震などによる被害を防止するための対策の急務となっています。

五ヶ瀬川の現状と課題

河川整備の利用

延岡市西部を貫流する下流部は、洪水散水広く、グラウンド、ゴルフ場等が整備され、住民の憩いの場、憩いの場ともなっています。五ヶ瀬川の洪水散水面積は10世帯50haであり、このうち、1日71haが公園・緑地等として利用されています。利用形態としては自然的多用途レクリエーション等が主体となっており、花火大会やイカゲ下りなどのイベントの場としても利用されています。



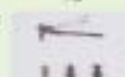
河川環境

豊かな水量に恵まれ、大きな淵や池を有する五ヶ瀬川。水域には、カワアナゴ、カマキリなどの魚類が生息しています。

大瀬川にはアユの産卵場があり、水域には、カワアナゴ、カマキリなどの重要な魚種が生息しています。他にもオキヤコシなどが広く、多様な自然環境が保たれています。



可愛目、行徳山、地山一帯では、哺乳類や鳥類、ムカシトンボ等の希少な生き物が多く見られます。



河口周辺にはアカウミガメの産卵が見られます。



北川には産卵やワンドが存在し、70種以上の貴重な魚が生息しています。一部では河豚科が発達し、アユの産卵場やカマキリ、ヤマセエ等も見られ、河川では植物群落、竹林等が生息しています。



汽水域にはコアマモ科が形成されており、アハマミなどの植物の生息の場となっています。

水質

五ヶ瀬川水系では、水質汚濁防止法良好率が高いです。特に近年の下水道整備により、水質が向上しています。特に近年の下水道整備により、水質が向上しています。特に近年の下水道整備により、水質が向上しています。

河川整備計画の目標

河川整備の実施

河川整備の基本理念 「アユおどり 神話いきづく」多様でより豊かな自然環境と地域の個性ある風土・歴史・文化を未来に継承し、より安全・安心な五ヶ瀬川流域

4つの柱 *本計画の対象期間は概ね30年としますが、社会経済情勢・住民年齢等の変化により、必要に応じて適宜計画の見直しを行います。



河川	上流部	中流部	下流部	河川	上流部	中流部	下流部
五ヶ瀬川	延岡市延岡町中野(延長1.2km)1号橋	延岡市延岡町中野(延長1.2km)2号橋	河川口	五ヶ瀬川	5,500	2	河川口から河口までの延長
北川	延岡市北川町(延長1.0km)1号橋	延岡市北川町(延長1.0km)2号橋	河川口	五ヶ瀬川	3,100	1	河川口から河口までの延長
北川	延岡市北川町(延長1.0km)3号橋	延岡市北川町(延長1.0km)4号橋	河川口	五ヶ瀬川	7,800	1	河川口から河口までの延長
北川	延岡市北川町(延長1.0km)5号橋	延岡市北川町(延長1.0km)6号橋	河川口	五ヶ瀬川	4,400	2	河川口から河口までの延長
北川	延岡市北川町(延長1.0km)7号橋	延岡市北川町(延長1.0km)8号橋	河川口	五ヶ瀬川	1,350	1	河川口から河口までの延長
北川	延岡市北川町(延長1.0km)9号橋	延岡市北川町(延長1.0km)10号橋	河川口	五ヶ瀬川	5,000	1	河川口から河口までの延長

*五ヶ瀬川(大瀬川)は対象外とする。

河川整備の実施

治水（河川改修）

河口・河川改修



河川改修を実施して治水効果を確保します。また、自然環境を考慮しながら、河川環境が持っている河川については対策を実施します。

橋梁の改修等



利用状況等により必要等の必要な橋梁の改修、橋脚、護岸、堤防、支障多岐については、関係機関と連携、調整しながら進めていきます。

五ヶ瀬川・大瀬川分家対策



五ヶ瀬川と大瀬川の分家点において、治水対策に区分できるよう、分家点付近の治水を安全に実施します。対策にあたっては、分家点の治水を確保するための対策を考慮し、平時の治水にも配慮して実施します。

五ヶ瀬川・大瀬川分家対策



大瀬川の洪水による水位上昇対策として、涌出量により大瀬川と五ヶ瀬川の治水を安全に実施します。併せて大瀬川の河床改良を実施します。

堤防強化対策

堤防の安全性を確保するため、堤防の強化対策を実施し、堤防強化対策が必要な箇所については、対策を実施します。

河川整備の実施

治水（内水対策）

床上浸水が発生する等の内水による大きな浸水被害の発生が予想される地域において、地域との連携のもと内水対策を実施します。ただし、その実施については被害実態や浸水特性、土地利用状況等を十分把握し、関係機関と連携、調整して必要な施設を図るとともに、内水対策により下流の被害を軽減させないものとなります。



H17.10.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.の内水被害状況

地震・津波対策

地震・津波対策については、発生が危惧される南海海溝・南海地震等の大規模地震による堤防等河川・湖沼施設の安全性を確保し、たうたえ、必要な対策を実施するとともに、津波による被害を防止するため、水門や樋管等の操作体制の確立や、必要な対策を図ると、被災の防止・軽減を図ります。

河川整備の実施

河川環境の整備と保全・再生及び河川利用の場としての整備

自然との共生に配慮しながら、水辺環境の再生・創出、環境学習の場としての整備に取り組みます。

五ヶ瀬川流域の風土、文化、歴史を踏まえ、河川環境を次世代に継承するよう地域との連携を図り、良好な自然環境の保全、再生に取り組めます。また、積極的な活動の場としての役割が期待されるよう、地域の資源に基づいた保全活動を行います。空間利用については、沿河川民にとって貴重な水と緑のオープンスペースとして親しまれていることから、人々の憩いと触れ合い、楽しみ、知る場、あるべき空間の整備を進めます。



河川整備の実施

五ヶ瀬川下流部の環境整備



下流部河川環境整備地区の中心部には、サイクリングや散歩が楽しめる整備してあり、景内の緑化地と連携した一体的な利用や子供の場として憩いの場と連携し保全の体制づくりを行います。

矢野川における自然環境の保全・再生



現在、沿河川自然再生事業として地域住民と一体となった自然再生が実施されており、健康路の整備や河川林の再生等を実施します。また、自然体験や環境学習の場としての整備を進めます。

アユの産卵場・生態環境の保全



大瀬川と五ヶ瀬川はむかし阿武の産上と産卵アユの産下が有名で、アユの産卵は産卵を代表する産卵場の一つとなっています。産卵場を有と連携しつつ水産資源及び観光資源としても重要なアユの産卵場環境の保全に努めています。

親水性の向上



遊歩・遊歩帯の整備にあたって、関係団体の意見を聞きながら、みんなが安心して利用し遊べる階段・スロープ等の整備を積極的に進めています。また、河川公園、河原や流水遊歩、人々が自然の癒やし空間について、お楽しみ活動や「アスリートタウン構想」とも連携した整備を進めています。

河川整備の実施

洪水被害の軽減

洪水、高潮、地震、津波等による被害の未然防止及び軽減を図るため、地方自治体などの関係機関と連携して情報伝達や水防活動に取り組んでいます。

■河川情報システムの整備

洪水等による被害を軽減するために、光ファイバーネットワークの構築、IT関連施設の整備を行い、水位や雨量、監視カメラの画像等を迅速かつ正確に伝達できるようにします。

■水防活動

洪水や高潮などにより災害が発生するおそれがある場合に河川関係者は、水防管理署である作野村館に通知します。それを受けて水防隊村員は水防部隊（消防団）の活動を要請します。



■防災意識の向上

早期からの水防活動に力を発揮するために、関係機関で組織する「五ヶ瀬川水防連絡会」では水防前の心得説明、情報伝達訓練、防災訓練等を行います。



五ヶ瀬川水防連絡会の関係者会議

■危機管理

洪水等に対する経歴・意識を高めることを目的とした五ヶ瀬川浸水想定区域図を元に町民のハザードマップ等が分かりやすく作成・公表 徹底されるよう努めます。



五ヶ瀬川浸水想定区域図 (1/10, 1:10,000 縮尺)

河川整備の実施

五ヶ瀬川の川づくりの進め方



■関係機関・地域の皆様との連携

おヶ瀬川を常に安全で適切に利用・管理するため、より良い河川環境を地域ぐるみで実現することを目指し、収集した情報や河川も併せて提供するポスター、パンフレット、インターネット等による幅広くPR活動を行い、情報の共有化を行います。河川清掃やイベント等の地域住民の自主的な活動に対しては、安全で多数の地域住民が参加できるよう、活動に必要な河川情報を積極的に提供する等の支援を行います。

■地域住民の関心を高めるための広報活動

「おヶ瀬川らしさ」を基とした河川整備を伝えるため、ホームページやラジオ、ケーブルテレビなどの地元メディアや広報誌を利用して広く情報提供し、住民との意思伝達に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど関係機関や地域住民等との双方向コミュニケーションを推進してまいります。さらに、自然体験活動等を通じて子どもたちへの環境学習を積極的に推進するなど、広く地域住民に五ヶ瀬川に対する関心を高めるための活動を行います。

